

3 令和6年度事業概要

(1) 令和6年度事業報告

令和6年度は、これまでの事業実施の成果を踏まえつつ、舞台芸術公演や市民参加型事業等の文化振興事業を通して、芸術文化の振興、普及に努めた。

開館4年目を迎えるアクリエひめじでは、東京二期会のオペラ『蝶々夫人』や人気アニメ『犬夜叉』オーケストラ公演、池辺晋一郎芸術監督のオリジナル企画をはじめ、演劇や古典芸能など多彩な公演を開催。シティイメージの向上、交流人口増とにぎわい創出の一翼を担った。また、姫路市ジュニアオーケストラ、演劇ワークショップ等、若いうちから創造的な体験に参加できる芸術文化活動の場を提供し、次世代の育成に寄与した。

施設管理業務においては、経費の節減を図りながら、来館者の安全性の確保と市民サービスの向上を行い、適切な運営に努めた。また、指定管理者として施設を有効活用して文化事業を実施することにより、来館者増と施設のPRを図った。

姫路市書写の里・美術工芸館においては、工芸を通して郷土に根付く生活文化の再発見を促し感性を育む場として、幅広い世代を対象とした企画展示及び体験教室等の育成・普及事業を実施することにより、美術工芸の振興と継承を促進した。

国際交流事業においては、海外諸国との相互理解と友好的な親善を推進し、世界に開かれた魅力ある国際都市づくりを目指した。在住外国人に向けた適時性のある情報発信と相談窓口を継続して行った。また、地域社会全体での受け入れ体制の充実を一層促進するため、市民に開かれた講座やイベント、地域ぐるみの国際交流事業を実施した。特に若い世代の異文化理解を深める機会として姉妹都市派遣・受入、オンライン交流等の国際交流体験による相互理解を促進し、国際交流への理解と関心を高め、国際都市姫路の環境醸成に努めた。

なお、予算書内訳表の事業区分は次のとおりとした。

公益目的事業1（略＝〔公1〕）	舞台芸術等文化振興事業
公益目的事業2（略＝〔公2〕）	博物館学芸振興事業
公益目的事業3（略＝〔公3〕）	文化施設の貸与及び管理運営事業
公益目的事業4（略＝〔公4〕）	国際交流事業
収益事業1（略＝〔収1〕）	管理運営施設等の物品販売事業
収益事業2（略＝〔収2〕）	文化施設の公益的目的外の貸与及び管理運営事業
その他事業1（略＝〔他1〕）	その他の文化・国際交流事業

I 舞台芸術等文化振興事業

「育成」「普及」「鑑賞」「交流」の4機能を事業の柱として設定し、すぐれた舞台芸術の提供、地域文化の育成と支援、郷土文化の伝承と保存、芸術文化活動の振興と奨励、文化情報の収集と提供、文化団体や文化人の交流等の文化振興事業を以下のとおり実施した。

1 アクリエシリーズ [公1]

播磨地域の文化交流拠点として開館4年目を迎えた姫路市文化コンベンションセンター(アクリエひめじ)において、大型舞台芸術公演を実施。文化の殿堂と姫路のにぎわい拠点としてのブランディングを促進し、プロモーションに努めた。

No	事業名	開催日	開催場所	内容
1	吹奏楽で聴く！ 平成→令和 超人気アニメ 音楽特集	R6.5.26(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	地元姫路から阪神間にかけて活動しているプロの吹奏楽団奏者を中心に、2020年に結成された「播磨国吹奏楽団」の演奏会。「音楽のまち・ひめじ」事業の活性化のため、現役吹奏楽部の学生から社会人団体や、一般市民まで広く興味を抱けるイベントとして実施。今回は話題となったアニメ OP テーマをメインに演奏した。指揮は吹奏楽界の著名な作・編曲家である天野正道、トランペット独奏にはエリック・ミヤシロが出演した。 【出演者】天野正道(指揮・作編曲)、エリック・ミヤシロ(トランペット)、播磨国吹奏楽団、姫路市吹奏楽団(演奏) 【入場者】1,018人
2	東京二期会オペラ プッチーニ「蝶々夫人」	R6.7.27(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	姫路市出身の世界的デザイナー、高田賢三最後の衣裳デザインにより、イタリアオペラを代表する大作曲家ジャコモ・プッチーニの傑作であり、日本を舞台とするオペラ『蝶々夫人』を開催した。演出は宮本亜門。 【出演者】ダン・エッティンガー(指揮)、東京二期会、二期会合唱団(合唱)、東京フィルハーモニー交響楽団(管弦楽) 【入場者】1,639人
3	アニメ・オーケストラシリーズ ～和田薫・犬夜叉の音楽 世界～	R6.8.18(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	作品のサウンドトラック全楽曲を手掛ける作曲家・和田薫氏を指揮者に迎え、人気楽曲をオーケストラアレンジで楽しむ『アニメ・オーケストラシリーズ ～和田薫・犬夜叉の音楽世界～』。オーケストラアレンジされた楽曲や、作品おなじみの豪華声優の MC を迎えてお届けした。 【出演者】和田薫(指揮・プロデュース・作曲)、ゆきのさつき(MC・声優:日暮かごめ役)、パシフィックフィルハーモニア東京(管弦楽) 【入場者】1,472人

No	事業名	開催日	開催場所	内容
4	池辺晋一郎 Presents 不朽の洋画音楽コンサート	R7.1.25(土) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	選りすぐりの洋画音楽を生のオーケストラ(国内のトップ奏者が首席を務める姫路オリジナルのオーケストラ)で贈る演奏会を実施。司会は日本を代表する作曲家・池辺晋一郎。トークゲストには映画吹替の世界でトップ声優の山寺宏一、戸田恵子を迎え、豪華キャストで演奏会を盛り上げた。 【出演者】 池辺晋一郎、空井仁美(司会)、山寺宏一、戸田恵子(トークゲスト)、山下一史(指揮)、Legendary Orchestra in Japan(管弦楽) 【入場者】876人
5	J-POP クラシックス(仮)	中止	アクリエひめじ 大ホール	会場日程と出演者調整が困難なため中止
6	栗コーダーカルテットコンサート	R7.2.2(日)	アクリエひめじ 中ホール	NHK E テレ「ピタゴラスイッチ」や通称「やる気のないダース・ベイダーのテーマ」などでもお馴染みのインストゥルメンタルバンド「栗コーダーカルテット」による演奏会。近年では国内外で多く公演を行い、0歳からシルバー世代までが集うファミリー向けコンサートで幅広い層に歓迎されているバンド。今回はサポートゲストにギタリストの安宅浩司を迎えた4人での演奏をお届けした。 【出演者】栗コーダーカルテット、安宅浩司(サポートゲスト) 【入場者】651人

2 音楽のまち・ひめじ [公1]

姫路の街ににぎわいを創出すべく、特に音楽の分野において多彩かつ芸術性の高い鑑賞型の公演並びに参加型イベント等の開催を通して、音楽文化を振興すると共に、姫路市による「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを推進した。

No	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第27回 姫路ジャズフェスティバル 地元ジャズ・バンド大集合	R6.5.5(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	地元アマチュアバンドが実行委員会形式により企画・立案、広報、チケット販売を実施。 映画「スウィングガールズ」のモデルとなった兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部や学生バンド、社会人によるコンボ、ビッグバンドなど総勢11団体がおなじみのスタンダードナンバーや映画音楽などを演奏。 【出演】メガトーンジャズオーケストラ、サンデー・サウンズ・ジャズ・オーケストラ、スイングキャッツ、兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部、姫路市立灘中学校吹奏楽部、兵庫県立加古川南高校吹奏楽部 他 計11団体、三浦紘朗(司会) 【入場者】1,600人
2	吹奏楽楽器講習会	R6.5.25(土)	山陽中学校	吹奏楽団全体のレベル向上を目指し、楽器の基礎を学ぶ講習会(楽器に初めて触れる生徒から、数年の経験者まで)を開催。姫路市中学校音楽部会、西播吹奏楽連盟の協力のもと、「音楽のまち・ひめじ」の今後を担う中高生たちの育成を図った。 【指導者】プロ演奏家32人 【受講者】中学生252人、高校生213人
3	懐かしの洋楽ヒットパレード	R6.5.30(木) R6.9.26(木) R7.2.9(日) 【年間3回】	キャスパホール	元ラジオ関西 DJ の三浦紘朗が当時の世相などを織り込みながら進行する、オリジナル音源による CD コンサート。 【入場者】①233人②209人③227人
4	姫路市ジュニアオーケストラ 第3回定期演奏会	R6.7.7(日) 【1回】	アクリエひめじ 大ホール	令和2年(2020年)8月に結成された姫路市ジュニアオーケストラの第3回定期演奏会。指揮の栗辻聡氏、独奏の宮川知子と共に、クラシック・バレエを代表するチャイコフスキーの最高傑作「白鳥の湖」、そして聴衆と演奏者の両方に愛されるラフマニノフの代表作「ピアノ協奏曲第2番」、「美しさ・重厚さ・気高さ」をテーマにしたクラシックの王道プログラムに挑戦した。 【出演者】 栗辻 聡(指揮)、宮川知子(独奏、ピアノ)、 姫路市ジュニアオーケストラ(演奏) 【入場者】504人

No	事業名	開催日	開催場所	内容
5	池辺晋一郎芸術監督シリーズ「音楽をのぞいてみよう」 第7回 シューマン 第8回 ブラームス	R6.7.21(日) R6.12.7(土) 【2回】	パルナソス ホール	池辺芸術監督企画による、作曲家を題材に音楽の楽しみ方や若手プロ演奏家育成を兼ね備えたレクチャーコンサートを実施。 【出演者】池辺晋一郎(お話)、坂本樹生(バリトン)、稲本愛歌(チェロ)、金未卯(ピアノ) 【入場者】209人 【出演者】池辺晋一郎(お話)、吉田侑記(ヴァイオリン)、稲田悠佑(チェロ)、西岡仁美(ピアノ) 【入場者】206人
6	集え！姫路城1000本のトランペット	R6.9.22(日) 【1回】	姫路城三の丸 広場	世界遺産登録30周年記念「姫路城100本のトランペット」の第2弾を実施。前回は大きく上回る1,000本の参加者を募った。最終的に申込者422名全員参加となった。 【出演者】杉木峯夫(音楽監督・指揮、東京藝術大学名誉教授、日本トランペット協会会長)、在原豊、井上圭、奥山泰三、オッタビアーノ・クリストーフォリ、佐々駿、佐藤友紀、関山幸弘、内藤知裕、中澤孝之、野間裕史、橋爪伴之、橋本洋、早坂宏明、本村孝二、梶原彰人、倉田寛、白濱俊宏、多戸幾久三(プロ奏者) 【参加者】兵庫県内272名、兵庫県外150名計422名 【観覧者】約3,000人
7	パルナソス 朝のハーモニー	年間 【6回】	パルナソス ホール	原則第2土曜日の朝、家族揃って気軽に楽しめるコンサート。出演者は「姫路パルナソス音楽コンクール受賞者」や新進演奏家、地元音楽家などの申し込みにより決定。出演者独自の企画による舞台づくりにより、演奏家の育成を図った。 【出演者】 ・5/11:熊木夕菜(ソプラノ)、増永弦(ピアノ) ・7/13:遠藤優美(ピアノ)、西林彩菜(オーボエ) ・9/14:細川萌絵(ピアノ)、山田栞(ヴァイオリン) ・11/9:阿部翠(オルガン) ・1/11:住野光理(ピアノ)、榎本早希(ピアノ) ・2/8:山中歩夢(ピアノ) 【入場者】延べ1,027人

No	事業名	開催日	開催場所	内容
8	ピアノシリーズ Vol.2 阪田知樹 ピアノリサイタル	R6.8.4(日) 【1回】	パルナソス ホール	ピアノシリーズ第2回は、世界三大音楽コンクールの1つ、エリザベート王妃国際音楽コンクールにて第4位入賞を果たし確かな技術と豊かな表現力を兼ね備えた、いま最も輝くピアニスト阪田知樹を招きリサイタルを実施した。 【出演者】阪田知樹(ピアノ) 【入場者】443人
9	姫路市ジュニアオーケストラ (運営)	通年	アクリエひめじ 他市内公共施設等	芸術監督池辺晋一郎の提唱により、幅広い年齢層の若者を対象に、オーケストラへの参加と活動を通して社会性や協調性を養い、姫路市の未来の音楽文化を担う人材へと育成するため、令和2年8月に創設されたオーケストラの運営を行う。 このオーケストラは、芸術監督池辺晋一郎(作曲家)、団長清元秀泰(姫路市長)、アドバイザー三浦章宏(ヴァイオリン、東京フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)のもと、アクリエひめじでの定期演奏会を始め、地域の中で広く文化交流の輪が広まる活動を行った。 【演奏会】 ・7/7 第3回定期演奏会(会場:アクリエひめじ大ホール) ・11/10 オータムコンサート(会場:パルナソスホール)
10	文化情報広報発信	通年	市内	姫路市ジュニアオーケストラの活動をはじめとする青少年への音楽普及を目指し、FM Genki等を通じてPRを実施した。

No	事業名	開催日	開催場所	内容
11	音楽のまち・ひめじプロジェクト	通年	市内	市内各地において多彩な音楽事業を展開し、まちのにぎわいを創出するとともに、本市における次世代の音楽家を育成。また、音楽事業について、広く周知を図るため、ホームページ、SNS で発信を行い、音楽の力で姫路を元気にする事業を実施した。 ●ふらっとお散歩コンサート 10/27 姫路文学館、淳心学院心城館、イーグレひめじアートホール 【観覧者】約448人 ●まちかどコンサート ・鍵盤ハーモニカアンサンブル空音 11/2 イーグレひめじアートホール※雨天のため 【観覧者】約70人 ・兵庫県立高砂高等学校ジャズバンド部コンサート 11/9 姫路駅北にぎわい交流広場 【観覧者】約600人 ・姫路市ジュニアオーケストラ オータムコンサート 11/10 パルナソスホール 【観覧者】586人 ●交響詩ひめじ PR コンサート ・飾磨 solare 合唱団演奏会 9/14 イオンモール姫路リバーシティ1階タワーガーデン 【観覧者】約500人 「社会包摂事業」 ●親子で楽しむ！0歳からのリトミックあそび 6/27 アクリエひめじスタジオ1 8/8 ネスパル安富多目的ホール 9/12 アクリエひめじスタジオ1 12/3 網干市民センター大ホール 【参加者】延べ161組(親子) ●0歳からの歌とフルートとピアノのコンサート 10/22 図書館広畑分館ホール 11/12 図書館飾磨分館ホール 12/16 図書館網干分館ホール 【観覧者】延べ610人 ●オルガンアウトリーチ 9/4 菅生小学校、11/6 高岡小学校、11/15 手柄小学校、11/28 豊富小中学校 【参加者】延べ1,344人 ●はじめてのフルート体験 8/18 アクリエひめじスタジオ1 【参加者】延べ28人(2回実施)

No	事業名	開催日	開催場所	内容
12	ル・ポン国際音楽祭(姫路国際音楽祭)実行委員会関連業務	通年	市内	市民の間へのクラシック音楽を楽しむ土壌の醸成、芸術に触れることによる市民文化の振興、青少年の豊かな心の醸成を実現すると共に、姫路の魅力を世界に向けて発信することを目的として、平成24年から赤穂国際音楽祭と共同で開催するル・ポン国際音楽祭の実行委員会の一員として、市民への広報、公演の運営に参画した。

〔パルナソス育成普及事業〕

No	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第26回 姫路パルナソス音楽コンクール受賞記念 コンチェルト in パルナソス	R6.5.19(日) 【1回】	パルナソス ホール	前年度コンクール受賞者と日本センチュリー交響楽団による演奏会を副賞として実施。 【出演者】池田聖香(ヴァイオリン)、細川萌絵(ピアノ)、西谷亮(指揮)、日本センチュリー交響楽団(管弦楽)
	第27回 姫路パルナソス音楽コンクール	R6.6.22(土) 管楽器本選 R6.6.23(日) 声楽本選 【2回】	パルナソス ホール	将来性豊かな才能あるアーティストの発掘と、音楽活動の支援を目的とするコンクールを実施。 【部門】管楽器部門、声楽部門 【審査員】池辺晋一郎(作曲)、本田耕一(クラリネット)、木村寛仁(ユーフォニアム)、清水信貴(フルート) 柏木敦子(ソプラノ)、林裕美子(ソプラノ)、久保和範(バリトン)、藪田翔一(作曲) 【受賞者】 ・管楽器部門 第1位 廣畑きらり、第2位 村上小夏、 第3位 山岡郁子 ※予選出場者11人 本選出場者11人 ・声楽部門 第1位 小川栞奈、第2位 大上りあ、 第3位 石川真子 ※予選出場者15人 本選出場者10人 【入場者】109人
	第27回 姫路パルナソス音楽コンクール受賞者演奏会	R6.10.20(日) 【1回】	パルナソス ホール	コンクール受賞者演奏会を実施。 【出演者】 廣畑きらり(サクソフォン)、村上小夏(フルート)、山岡郁子(ユーフォニアム)、小川栞奈(ソプラノ)、大上りあ(ソプラノ)、石川真子(ソプラノ) 【入場者】138人

No	事業名	開催日	開催場所	内容
2	第24回 上田晴子ピアノスクール「マスタークラス」	R6.7.26(金) ～7.29(月) 【4回】	パルナソス ホール	ピアノのソロとアンサンブルの公開レッスンを実施。技術面だけでなく、演奏家としての心構え、音楽性にまで踏み込んだ密度の濃いクリニック。 【講師】上田晴子(パリ国立高等音楽院室内楽科教授・ピアノ科准教授) 【実技受講者】延べ36人 【聴講者】延べ92人
3	バロック in 姫路 バロック室内楽の愉悦	R6.11.17(日) 【1回】	パルナソス ホール	チェンバロ・オルガンの奏者として第一線で活躍し、ホールのチェンバロ講座の講師を長年務める大塚直哉がプロデュースするシリーズ「バロック in 姫路」。今回は、日本屈指の古楽器をあやつる奏者たちがお届けする室内楽演奏会。バロック・ヴァイオリンやチェンバロ、ポジティブオルガンとともに、17、18世紀スタイルのオーボエ、ファゴットの響きを楽しめるコンサートを実施。 【出演者】荒木優子(バロック・ヴァイオリン)、三宮正満(バロック・オーボエ)、村上由紀子(バロック・ファゴット)、大塚直哉(チェンバロ) 【入場者】131人
4	オラトリオ 「メサイア」Vol.6	R7.3.16(日) 【1回】	パルナソス ホール	「ハレルヤ・コーラス」で有名なヘンデルの最高傑作、オラトリオ《メサイア》全曲演奏会を6年ぶりに開催。メサイアの序文に記された「いざ、大いなることを歌おう。」をキーワードに、いろいろな世代の音楽愛好家が集った公募合唱団とともに、プロや公募のソリスト、オーケストラが力を合わせて、大作に挑むプロジェクトを実施。喜びと希望に満ちた歌声、オーケストラによる壮大な音楽コンサートとなった。 【出演者】大塚直哉(指揮)、ソリスト:中嶋俊晴(カウンターテナー)、藤井雄介(テノール)、山田大智(バス)、公募ソリスト:岩原綾子(ソプラノ)、鈴木麻琴(ソプラノ)、藤田真帆(ソプラノ)、前田紗希(ソプラノ)、石松千咲(アルト)、伊藤典芳(アルト)、廣澤星花(アルト)、横溝秀明(テノール)、パルナソス・メサイア合奏団(管弦楽)、パルナソス・メサイア合唱団(合唱) 【入場者】506人

〔パルナソス楽器普及事業〕

No	事業名	開催日	開催場所	内容
1	オルガン振興事業 オルガン講座・1日体験 オルガンシリーズ Vol.17 ヨハン・セバスティアン・バッハ オルガニストの軌跡Ⅰ オルガンシリーズ Vol.18 ヨハン・セバスティアン・バッハ オルガニストの軌跡Ⅱ オルガンシリーズ Vol.19 ヨハン・セバスティアン・バッハ オルガニストの軌跡Ⅲ	通年 R6.4.21(日) R6.9.29(日) R7.1.19(日) 【各1回】	パルナソス ホール	ホールのシンボルであるパイプオルガンの振興を図り「オルガン講座(通年コース(5クラス)、1日体験)」「オルガンコンサート」を実施。 ●オルガン講座・1日体験 【講師】長田真実(ホールオルガニスト) ・通年コース 【受講生】A=6人、B=5人、C=6人、D=6人、E=6人 延べ29人 ・受講者発表会(3/20)【入場者】69人 ・1日体験(6/29、11/2、1/11 各 A・B クラス) 【受講者】延べ30人 【観覧者】延べ22人 ●オルガンシリーズ 【出演者】 ・Vol.17:長田真実(オルガン) ・Vol.18:フィリップ・クリスト(オルガン)、長田真実(オルガン) ・Vol.19:大平健介(オルガン)、長田真実(オルガン) 【入場者】延べ709人
2	0歳からの！オルガンクリスマスコンサート オルガンとめくる絵本	R6.12.15(日) 【1回】	パルナソス ホール	パイプオルガンの演奏で普段入場が難しい0歳のお子様から音楽に親しめる、パルナソスホール独自企画のクリスマス演奏会を実施。 【出演者】 長田真実(オルガン)、小嶋真介(お話) 特別ゲスト:姫路市児童合唱団(合唱) 【入場者】798人

No	事業名	開催日	開催場所	内容
3	チェンバロ講座	通年	パルナソス ホール	チェンバロの活用と普及のため、講師の大塚直哉(チェンバリスト、東京藝術大学教授)による「チェンバロ講座」、講師の高橋千恵による入門コース、1日体験、調律師の佐久間朋子による調律レッスン、チェンバロ演奏に密接な関係のある「バロックダンス講習会」(【講師】湯浅宣子)を実施。 【受講者】 ・1日体験(5/11、8/10、1/13)講師:高橋千恵 受講生:延べ23人(観覧=延べ20名) ・入門コース(通年):11人 ・初級コース(通年):17人 ・課題曲ワークショップ(通年):延べ36人(聴講=延べ37名) ・調律レッスン:延べ22人 ・上級コース(通年):1人 ・ダンス講習会(クラス1、2、3…6/9、8/25、12/1):延べ87人 ・受講者発表会(2/16)【入場者】66人

〔交響詩ひめじ普及事業〕

No	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第35回「交響詩ひめじ」 合唱コンクール	R7.2.2(日) 【1回】	パルナソス ホール	市制100周年を記念して制作した「交響詩ひめじ」を歌い継いでいくための合唱コンクール。 【審査員】池辺晋一郎(財団芸術監督、「交響詩ひめじ」作曲者)、矢田正一(兵庫県合唱連盟副会長)、林裕美子(声楽家) 【最優秀賞・姫路市長賞】 兵庫県立姫路西高等学校音楽部 【最優秀賞・池辺晋一郎賞】 神戸市立桂木小学校 HAPPY 合唱団 【優秀賞】 合唱団 姫詩、合唱団「響」 【入場者】446人
	「交響詩ひめじ」 公開合唱ワークショップ	R6.12.8(日) 【1回】	パルナソス ホール	交響詩ひめじ振興を目的に、作曲者池辺晋一郎による公開合唱ワークショップを実施。 【出演者】池辺晋一郎(お話・合唱指導) 【受講者】32人

No	事業名	開催日	開催場所	内容
2	「交響詩ひめじ」演奏会	R7.3.9(日) 【1回】	パルナソス ホール	「交響詩ひめじ」の普及を目的とした、2月の合唱コンクール受賞団体とオーケストラによるジョイントコンサートを実施。 【出演者】 池辺晋一郎(お話)、柴田真郁(指揮)、交響詩ひめじ合唱コンクール受賞4団体、姫路市吹奏楽団・播磨国吹奏楽団(演奏) 【入場者】355人

3 市民文化高揚事業

演劇、古典芸能等の分野において、芸術性の高い鑑賞型の舞台公演を開催するほか、各種の振興事業を実施する。

〔演劇、古典芸能、大衆芸能〕

No	事業名	開催日	開催場所	内容
1	第52回 姫路落語会 〔公1〕	R6.8.17(土) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	文化センター開館から数えて今回52回目を迎える、桂米朝一門の豪華メンバーによる落語会。 【出演者(出演順)】 桂慶治朗「子ほめ」 月亭八光「初天神」 桂吉弥「ちりとてちん」 桂米團治「足あがり」 (中入) 桂南天「代書」 桂塩鯛「宿題」(桂三枝作) 【入場者】644人
2	第29回 キャスパ能 〔公1〕	R6.8.25(日) 【1回】	キャスパホール	能楽は、歌舞伎や人形浄瑠璃文楽と共にユネスコ無形文化遺産として世界に誇る日本の代表的な古典芸能である。江崎家をはじめとする地元在住の能楽師が加盟する姫路能楽会と協力し、本物の舞台を市民に提供した。 【出演者・演目】 「解説」上田拓司 ＜仕舞＞ 「屋島」田中章文 「羽衣キリ」山田義高 「頼政」上野朝義 ＜能＞ 「鉢木」(はちのき) 上田公威、江崎欽次郎 他 【入場者】180人

No	事業名	開催日	開催場所	内容
3	音楽劇 「空中ブランコのりのキキ」 〔公1〕	R6.8.31(土) 【1回】	アクリエひめじ 中ホール	別役実の傑作童話を原作とした世田谷パブリックシアターの新作。構成・演出に野上絹代を迎え、演劇・歌・音楽・サーカス・ダンス・アクロバットといったさまざまなアートの要素が詰まった作品を上演した。 【出演者】咲妃みゆ、瀬奈じゅん、松岡広大他 【入場者】571人
4	第33回 こころの祭 姫路 〔公1〕	R6.11.11(月) 【1回】	市内各所	姫路の隠れた文化をさらに掘り下げるため、自宅、神社、仏閣などを無料で開放していただく全国でもユニークな催しを公募制にて実施。 【実施協力者】21件 【入場者】延べ1,190人
5	第33回 キャスパ寄席 〔公1〕	R6.11.23(土) 【1回】	キャスパホール	会館オープン当初から毎年開催している桂米朝一門の中堅、若手による落語会。 演目は、会場の雰囲気により決定。 【出演者(出演順)】 桂二豆「狸の賽」 桂米輝「ちはやふる」 桂八十八「骨つり」 (中入) 桂佐ん吉「お血脈」 桂米二「替り目」 【入場者】296人
6	キャスパワークショップシリーズ 高校生のための戯曲ワーク ショップ「LET'S WRITE!」 〔公1〕	R6.6.2(日) R6.6.9(日) R6.7.14(日) R6.7.28(日) 【4回】	アクリエひめじ 会議室	劇作家・演出家の角ひろみ氏を講師に迎え、全4回のプログラムで上演時間30分ほどの戯曲を創作するワークショップ。高校生を対象とし、戯曲創作のおもしろさを体験した。 【受講者】5人
7	2025 文化交流フェスティバル 〔公1〕	R7.3.21(金)	アクリエひめじ 小ホール	姫路市芸術文化賞授賞式を実施。
8	文化事業連絡会 〔他1〕	年間	県内文化会館	近隣の文化会館との情報交換と交流や今後の連携公演などを計画した。
9	友の会事業 〔他1〕	通年		財団事業の入場券販売促進を目的として設立した友の会の運営を行った。また、地域の文化人、文化団体、市民等財団以外が主催となって行う公演チケットの受託販売を行った。

4 総合文化雑誌「BanCul」(バンカル)の発行 [公1]

「BanCul」を継続発行し、播磨の文化を全国へ向け発信する。127号より電子書籍も同時発行。
季刊各2,300部

- ① 132号(夏号) 特集: 播磨の空を楽しむ
- ② 133号(秋号) 特集: 播磨の日本遺産(上)北前船
- ③ 134号(冬号) 特集: 播磨の日本遺産(下)銀の馬車道・赤穂の塩・巡礼道
- ④ 135号(春号) 特集: 湯の山街道を行く

5 「文化情報姫路」の制作 [公1]

姫路市近隣における舞台、美術、文学等の催物案内、情報を掲載した「文化情報姫路」を毎月制作し、市民に公開した。紙面(各月4,000部発行)とウェブサイトを通じたデジタルデータでの提供を行った。

6 文化活動への後援名義等の使用許可、助成等 [公1]

姫路市の文化向上に寄与すると認められる団体や個人が実施する芸術文化活動に対して、財団の後援名義の使用を許可するとともに、年間2回の公募を行い、審査のうえ、事業費用の一部を助成金として交付し、芸術文化活動の活発化を図った。

- (1) 文化活動助成
応募:76件 交付:65件(辞退3件、中止2件)
- (2) 後援名義
使用許可:127件(内訳:音楽70件、美術11件、映画鑑賞11件、伝統芸能8件、国際交流6件、舞踊8件、文学2件、演劇3件、その他8件)

7 播磨学研究所助成 [他1]

姫路市及び播磨地域の歴史、文化の学際的研究を推進するために、播磨学研究所が実施する各種の事業活動に対し、助成金を支出した。

8 女流王位戦助成 [他1]

女流棋士による将棋タイトル戦の5番勝負のうち第4局を市内で開催し、市民を対象とした大盤解説等を実施することに対して助成し、市民文化の向上と姫路市のPRに努めるべく予定していたが、今回は3局で決着がついたため、開催なし。

【女流王位獲得者】福岡香奈

9 芸術文化賞選考 [公1]

姫路市を中心に活躍、若しくは姫路市の芸術文化の振興に貢献した個人又は団体を顕彰するために、第47回姫路市芸術文化賞の選考を行った。授賞式は3月21日(金)に開催された。

- (1) 選考委員会:1/16(木)、1/29(水)
- (2) 選考結果
芸術文化大賞:立花江津子(工芸)
芸術文化賞:津田徳隆(吹奏楽指導)、中島妙子(文芸)
芸術文化年度賞:姫路交響楽団(交響楽)、諸井学(文芸)
芸術文化奨励賞:深江亮太(フルート)、吉田玉勢(文楽)

10 姫路キャスパホール指定管理自主事業〔公1〕

姫路キャスパホールの指定管理にともなう文化事業を実施する。

No	事業名	開催日	開催場所	内容
1	懐かしの名作映画 in CASPA	R6.6.13(木) R6.10.17(木) R7.2.20(木) 【3回】	キャスパホール	指定管理事業の一環として、利用者の少ない平日の午前・午後区分を有効に活用し懐かしい名作映画を市民に提供。午前と午後で作品を変えて上映した。 【上演作品】 ①第三の男／ローマの休日 ②二人でお茶を／哀愁 ③風と共に去りぬ 【入場者】 ①101人／118人 ②76人／97人 ③259人

11 姫路国際ヴァイオリンコンクール開催調査事業(仮)〔公1〕

国内のみならず、海外から幅広い年代が参加できる国際的なコンクールの開催検討に向けての調査を実施した。

II 博物館学芸振興事業

姫路市書写の里・美術工芸館において、企画展や体験教室等の学芸振興事業を実施した。

1 企画展〔公2〕

No	展覧会名	会期	内容
1	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 岩手県の諸玩具	R6.4.6(土) ～8.15(木) 115日間	盛岡・花巻のチャグチャグ馬コやこけし、花巻の土人形や忍び駒、金ヶ崎の六原はりこなど74点を展示。 【入場者】6, 943人
2	【開館30周年記念・春季特別展】 開館30年のあゆみ-館蔵名品展	R6.4.13(土) ～7.1(月) 70日間	当館は宮脇檀(みやわきまゆみ)設計の建物で平成6年7月1日に開館し、今年で30周年を迎えた。2万3千点をこえる館蔵品から厳選した作品196点を公開し、歴代特別展ポスターなどもあわせて展示した。 ※7月1日(月)は開館30周年記念日のため臨時開館 【入場者】4, 183人
3	【開館30周年記念・夏季特別展】 夏休み子どもミュージアム-江藤雄造さんと漆であそぼう-	R6.7.6(土) ～9.1(日) 50日間	夏休みの小中学生に向けた展覧会シリーズ11回目となる今回は「漆」がテーマ。伝統的な蒔絵(まきえ)技術で現代の生活空間を彩る活動を行う地元作家の江藤雄造の作品49件と、館蔵品121件をあわせて展示した。 【入場者】3, 303人
4	【所蔵品展①】 清水公照の世界	R6.7.6(土) ～10.20(日) 92日間	清水公照(明治44年～平成11年(1911-1999)・姫路市出身)は、奈良東大寺最高位の別当を務め、「すみ・いろ・つち」と題し書や墨画、泥仏(どろぼとけ)と呼ばれる陶芸作品を制作した。これらの名品を紹介した。 【入場者】5, 980人

No	展覧会名	会期	内容
5	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 広島県の諸玩具	R6.8.17(土) ～12.19(木) 107日間	三次人形や宮の峡(かい)人形、福山の常石はりこ、廿日市はりこ、宮島の鹿猿や土鈴、庄原の中国山地土鈴など88点を展示。 【入場者】10, 526人
6	【開館30周年記念・特別展】 2024 年播磨工芸美術展	R6.9.7(土) ～10.20(日) 38日間	播磨在住の現代工芸作家グループ「播磨工芸会」による陶芸・染織・漆芸・革工芸の新作39点を展示。併せて工芸分野の作品を広く公募し、審査のうえ優秀作品27点を展示する公募部門を設け、新人工芸作家の育成・発掘を図った。 【入場者】2, 603人
7	企画展 「書写の里・美術工芸館 イラストコンクール(里コン)展」	R6.9.14(土) ～9.29(日) 14日間	館内の作品や屋外の自然に親しむ目的で、写生(イラスト)コンクールを開催。応募イラストは館内に展示し、優秀作品には賞金を贈呈した。 【応募者】32人 【入場者】967人
8	【開館30周年記念・秋季特別展】 大村雪乃展-シールアート の世界	R6.10.26(土) ～12.24(火) 51日間	大村雪乃は美術大学在学中に文房具の丸シールで夜景を表現する絵画を発表し、素材の意外性とビジュアルの美しさで平成24年 Tokyo Midtown Award にてオーディエンス賞を受賞。以降美術家として国内外問わず多くの作品を発表している。本展では丸シールアート作品70点で、その面白さや表現する楽しさを紹介した。当館の秋の風景をテーマに、参加者が一緒につくり上げる大型作品のコーナーも設置した。 【入場者】7, 325人
9	【コーナー展示】 全国郷土玩具の旅 山梨県の諸玩具	R6.12.21(土) ～R7.4.3(木) 76日間	甲府の信玄だるまや福竜、甲州土鈴の虫切り鈴や弓張鈴、甲府土鈴の葡萄唐草魔除鈴など91点を展示。 【入場者】6, 267人
10	【所蔵品展②】 凧あがれ！展	R7.1.7(火) ～1.19(日) 12日間	正月の伝統行事の凧揚げのように郷土玩具から各地の凧を展示室いっぱいに掲げて展示した。 【入場者】575人
11	【開館30周年記念・新春特別展】 日本のガラス展	R7.1.25(土) ～4.13(日) 66日間	ガラスによる創作活動に携わる人々によって日本で初めて創設された「日本ガラス工芸協会」が3年毎に開催し、16回目となる「'24日本のガラス展」(令和6年9月～)の兵庫巡回展。新しい表現や技法に挑戦し続ける現代ガラス作品82点を通してその魅力に迫った。 【入場者】5, 949人
12	私のいっぴんギャラリー	通年	公募により、工芸分野の作品・コレクションを最長2週間ごとに一品(いっぴん=逸品)ずつ展示。 【応募者】6人 【入場者】24, 183人

※会期の日数は休館日を除く。 ※令和6年度の入館者数24, 183人 開館日数301日

2 イベント、各種体験教室の実施〔公2〕

当館及び周辺施設への観光者の増加を図るため、自然豊かな書写山の魅力を発信し、関係団体と連携の上、季節を通じて各イベントを実施した。

- ① 5/3 書写山新緑まつりイベント:陶芸教室【参加者】41人
- ② 7/7 開館記念日(30周年)イベント:茶会【参加者】83人
- ③ 11/2・11/3 秋季の観光促進イベント ※2日は雨天のため中止【参加者】300人
- ④ 11/16 書写山もみじまつりイベント:水引ワークショップ【参加者】16人

また、陶芸、染織、漆工芸、版画、工作教室など、見るだけでなく体験できる教室を通年で実施した。

3 伝統工芸の製作実演〔公2〕

姫路の各伝統工芸の魅力を紹介する目的で、職人による製作実演を館内で実施した。

【実演】姫路はりこ、姫路こま、姫山人形、唐木指物、蒔絵・漆塗り、こま・おもちゃ等の製作

【実演日】土曜日、日曜日、祝日(一部不定期)

【実施日数】延べ238日

4 美術工芸館売店事業〔収1〕

常設展や企画展の付帯事業として、図録等関連商品の販売を行った。

III 国際交流事業

地域ぐるみの国際交流を推進し、多文化共生社会の実現を図るため、地域住民への国際教養の普及啓発、海外都市との友好交流、国際交流情報の収集と提供、外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流などの事業を実施した。

1 地域住民への国際教養の普及啓発に関する事業〔公4〕

(1) 国際交流ふれあい教室

在住外国人を講師に招き、講演や料理等を通して異なる文化・習慣を持つ人々が地域に在住していることを知ってもらい、地域の国際化について考える機会を提供した。また、地域で暮らす外国人と市民の相互理解を図り、暮らしやすい地域づくりを促進した。

・6/23 Un Dimanche avec Marianne マリアンヌさんと過ごす日曜日

【講師】コパート メイヤ マリアンヌ(フランス出身)【参加者】27名

・9/20 シリア出身 アイシャさんと作る本格シリア料理

【講師】アベド アイシャ(シリア出身)【参加者】25名

・10/5 ハロウィンイベント「All English Haunted Hangout @ Egret Dungeon」

【講師】スミス ケッセン(姫路市 CIR)他 姫路市 ALT4名【参加者】15名

・3/23 やさしい日本語で一緒に作ろう 春の練り切り

【講師】なし【参加者】15名

(2) 国際交流理解出前講座

在住外国人や海外生活経験者を市内の公立小中高等学校や公民館等へ派遣し、スライドなどを用いた講演を通して、市民に国際理解を深める機会を提供した。また、多文化共生マネージャーの資格を持つ財団職員が講師となり、小学校で多文化共生に関する講座を実施した。

	派遣先	件数	参加者数
出前講座	公民館	16件	延べ438名
	小学校	4件	延べ321名
	義務教育学校	1件	55名
	中学校	1件	84名
	高等学校	1件	240名
多文化共生講座	小学校	3件	241名
		26件	【参加者】1,379名

(3) 国際理解映画上映会

映画鑑賞を通じて、国際問題について考える機会や異文化理解を深める機会を市民に提供した。

・11/10『サーミの血』【参加者】111名

2 海外諸都市との友好交流に関する事業 [公4]

(1) 姉妹都市等友好親善事業

姉妹都市等との友好交流を通して、市民間の交流、市民の異文化理解を促進し、文化の多様性を尊重する地域社会の発展を推進した。

① 海外からの来姫者対応(随時)

・8/24～8/26 太原市副市長一行【来姫者】10名

・10/19～11/3 姫路市・ウクライナ避難民交流「善意と友好の絆」事業
【来姫者】10名(保護者1名)

② クリチバ市からの姉妹都市提携40周年記念訪問団対応…来日中止

③ ヴァヴェル城からの姉妹城提携訪問団対応…来日中止

④ クリチバ市姉妹都市提携40周年記念訪問団派遣…最低催行人数に満たず派遣中止

⑤ 山西省青少年交流活動

友好都市である太原市の依頼で姫路市が募集協力した、山西省人民対外友好協会が実施する青少年交流事業に大学生2名と共に随行し、現地での体験活動を支援した。

(2) 青少年交流事業

姉妹都市でのホームステイや姉妹都市の青少年等とのオンラインでの交流等を通して異なる文化を理解し、お互いの違いを認めながら共生できる次代を担う青少年を育成した。

① 青少年派遣

姉妹都市名	派遣(予定)者	人数	時期及び期間
フェニックス市	(高校生)	-	※中止
アデレード市	(高校生)	-	※中止
昌原市	中学生	7名	R6.7.23(火)～7.29(月)
太原市	(中・高校生)	-	※中止

② 青少年受入

姉妹都市名	受入(予定)者	人数	時期及び期間
フェニックス市	高校生	2名	R6.6.12(水)～6.27(木)
アデレード市	(高校生)	-	※中止
昌原市	中学生	6名	R6.12.20(金)～12.26(木)
太原市	(中・高校生)	-	※中止

③ 青少年交流

ア 海外姉妹都市等オンライン交流

中・高校生が姉妹都市等の青少年等とオンラインで交流することにより、友好を深めると共に異文化理解を促進した。

開催日	相手方	参加者
R6.6.5(水)	ブラジル・クリチバ市 (国費留学生経験者等6名)	トライやるウィーク中学生5名
R6.8.22(木)	オーストラリア・アデレード市 (小学生15名)	子ども国際交流スクール 小学6年生24名
R6.9.23(月・祝)	中国・太原市 (太原市第二外国語学校生徒16名)	中学生7名、高校生3名 ※一般公募
R6.11.15(金)	ブラジル・クリチバ市 (国費留学生経験者等6名)	トライやるウィーク中学生3名

イ 子ども国際交流スクール

小学生が海外姉妹都市、多文化共生、姫路の文化等について学習する。またオンラインで海外姉妹都市等との交流を図る。海外諸都市との友好交流の担い手を育成することを目的として実施した。【参加者】市内小学生24名

	開催日	内容	
1	R6.7.6(土)	【講座】	もっと姫路を知ろう/オーストラリアってどんな国？
2	R6.7.27(土)	【講座】	多文化共生ワークショップ「難民について考える」
3	R6.8.7(水)	【バス旅行】	JICA 関西・人と防災未来センター見学(神戸)
4	R6.8.22(木)	【交流】	アデレード市小学生とのオンライン交流
5	R6.9.14(土)	【調理実習】	作って食べよう 世界のお菓子
6	R6.10.5(土)	【講座・交流】	姫路の海外姉妹都市・姉妹城 国際交流員と英語で遊ぼう！
7	R6.10.27(日)	【イベント】	ひめじ国際交流フェスティバル (たつの市小学生との交流)
8	R6.11.4(月・祝)	発表会	成果発表会

④ 派遣生 OB への活動支援(随時)

3 国際交流に関する調査研究及び情報の収集並びに刊行物の発行提供に関する事業

(1) 情報提供事業 [公4]

日本語を読んだり話したりできないことによる在住外国人の情報のハンディキャップを補うため、外国語放送・新聞では得ることのできない地域の情報(行政、教育、経済、社会、生活等)を母国語等で提供し、暮らしやすい環境づくりを行った。

① 外国語生活情報誌「VIVA!ひめじ」発行(年4回) Vol. 89、90、91、92

在住外国人に向け、6か国語※(日・英・スペイン・ポルトガル・ベトナム・中国)で生活情報を提供した。また、編集ボランティアと翻訳ボランティアの意見交換、交流を行う「VIVAの集い」を1回開催した。※日本語は、通常版とやさしい日本語版で発行した。

配布方法:在住外国人希望者への郵送、市内公民館等での配付、ウェブサイトで公開

発行部数	日本語	やさしい日本語	英語	スペイン語	ポルトガル語	ベトナム語	中国語	合計
Vol.89~92 (各号)	560	480	450	220	220	880	350	3,160部

② ウェブサイトの運営

日本語に不慣れな外国人へも速やかな情報提供を図るため、利用のしやすさに配慮したウェブサイトを通して、イベントの告知及び報告、在住外国人のための生活情報等を提供した。

(2) 外国語放送による情報発信 [公4]

FM Genki でベトナム語により生活情報等を提供した。毎週1回。5分程度。

(3) 機関紙等の発行 [公4]

機関紙及び海外姉妹都市青少年交流事業報告書を発行し、事業実施状況を報告した。

種類	発行回数及び部数		内容
機関紙「Hello! Himeji」	年1回	1, 500部	事業の紹介等。賛助会員等へ郵送する他、イベント開催時に配布。
機関紙「SHIRASAGI」	年3回	各400部	最新のイベント情報及びイベントレポート。賛助会員等へ郵送。
海外姉妹都市青少年交流事業報告書	年1回	1, 500部	青少年派遣・受入学生の体験報告書。賛助会員、派遣生及び各学校等へ配布。

(4) 賛助会員への通知 [他1]

機関紙、イベントの案内等をダイレクトメールにより送付した。

4 外国人受入体制の整備及び在住外国人との交流に関する事業 [公4]

(1) 在住外国人のための日本語講座の開催

① 在住外国人のための日本語講座

地域や職場で必要な会話や生活習慣を学ぶために日本語学習の機会を提供し、言葉の面から生活支援を行った。初級6クラス、中級1クラス各20名。年3期(5～7月／9～11月／12～3月)各10回開催。

	開催期間	参加者数	内容
第1期	5月～7月	初級32名 中級13名	R6.5.19(日)～初級開講 R6.5.18(土)～中級開講
第2期	9～11月	初級40名 中級10名	R6.9.14(日)～初級開講 ※初級Dクラスは受講希望者少数により不開講 R6.9.15(土)～中級開講
第3期	12月～3月	初級45名 中級7名	R6.12.15(日)～初級開講 R6.12.14(土)～中級開講

② 日本語ひろば・日本語ひろばキッズ・日本語ひろばキッズ+

日本語ボランティアに活動の場・機会を提供し、生活に必要な日本語学習を希望する在住外国人の細かなニーズ(時間、レベル、目的)に対応した日本語学習支援を行った。また、在住外国人児童・生徒の居場所づくりを行った。

(2) 市民のための外国語講座(姫路獨協大学共催事業)

市民に外国語を学習する機会を提供し、市民の異文化理解を図った。

① 中国語講座 超入門 9月～10月の水曜日(全8回)

【講師】森田ステラ、関麗 【参加者】16名

② 中国語講座 超入門冬講座 12月～2025年2月の水曜日(全8回)

【講師】関麗 【参加者】10名

(3) 日本語学習支援ボランティア養成講座

日本語ひろばや地域の日本語教室で活動する日本語学習支援ボランティア養成のため、日本語指導ボランティアとしての心得や日本語教授法についての基礎講座を開催した。

8/17(土)、8/18(日)、8/24(土) イーグレひめじ

【講師】矢谷久美子 【参加者】39名(うち修了者35名)

(4) ボランティアステップアップ学習会

市民及び登録ボランティアを対象に、ボランティア活動の更なるステップアップを目指すための学習会を開催した。

	開催日	内容	参加者数
第1回	R6.11.3(月・祝日)	やさしい日本語講座	11名
	R6.11.10(日)		16名
第2回	R7.1.26(日)	外国ルーツの子どもたちの学習支援	33名
第3回	R7.1.27(月)	伝わることば講座	15名

(5) 外国人相談センター

多言語による生活相談を実施し、在住外国人の生活面での問題解決を支援する。相談員が話すことができない言語でも、翻訳機を使って相談に応じた。

【開設日数】243日 【相談件数】延べ716件

開催場所	曜日	時間	相談員が話せる言語
市民相談センター (市役所1階)	月～金曜日	9時～12時、13時～17時	日本語、英語
		13時～17時	ベトナム語
	火曜日	13時～17時	中国語
		13時～16時	ポルトガル語、スペイン語
城東町総合センター	火曜日	13時～17時	ベトナム語
高木総合センター	水曜日	13時～17時	ベトナム語
見野の郷交流館	木曜日	13時～17時	ベトナム語

※ 休日及び年末年始を除く

(6) 国際交流フェスティバルの開催

各国料理模擬店、多文化共生を考えるワークショップ、各国民族舞踊音楽の紹介、世界の遊び、民族衣装やアポリジナルアート体験などのイベントの開催を通して、市民の異文化交流・理解を図った。

① 10/27 ひめじ国際交流フェスティバル 大手前公園

※フェスティバル運営委員会、姫路市、財団の3者主催

② 3/7 ひめじ国際交流スプリングフェスティバル 「Porland いつか行きたいポーランド」

【会場】イーグレひめじ 【講師】井筒ジョアンナ(ポーランド出身) 【参加者】40名

(7) 日本語スピーチコンテストの開催

日本語を母語としない在住外国人に日本語学習の成果を発表する機会を提供するとともに、市民に多文化共生社会について考えるきっかけを提供した。

2/16 イーグレひめじ あいめっせホール

【スピーチ発表者】14名 【ボランティア】12名 【来場者】121名

5 国際交流関係団体の連携及び支援に関する事業 [他1]

在住外国人への多様な支援につなげるため、国際交流推進に係るボランティアを募り、活躍の場を提供すると共に交流連携を推進し、その活動を支援した。

(1) 市民ボランティアの登録推進

広く一般市民を対象に、ホームステイ、通訳・翻訳、日本語指導のボランティア登録を随時受け付け、国際交流に関する情報と公益活動の機会を提供した。

(2) 市民ボランティアによる事業の推進

登録ボランティアが在住外国人支援のために主体的に企画・運営する事業の、実施と活動の支援を行った。また、ボランティアは海外姉妹都市青少年交流事業において、事前研修のアシスタント及び受入時の財団プログラムに参画した。

【推進した事業の例】

① ボランティアによる日本語学習者支援

② ボランティアによる在住外国人向け情報誌の制作(企画・取材・翻訳・編集)

(3) 地域交流助成事業

市内で国際交流・相互理解を図るための事業を実施する団体に助成金を交付した。また、姫路市内で実施される国際交流事業に対して後援名義の使用を許可した。

【助成申請】3件 【交付団体】3件

IV 施設管理運営事業

指定管理者制度の導入に伴い、制度の趣旨や公立文化施設としての使命を理解し、運営経費の節減に努めるとともに、利用者へのサービスに徹し、使用率、収支比率の向上を目指した。また、管理施設内において、前述のようなすぐれた舞台芸術の提供、市民参加型の事業等を実施した。また、安全対策のノウハウを蓄積し、施設利用者に安全性の高い施設を提供することにつなげた。

文化事業への貸出は、公益目的事業3。文化事業以外への貸出は、収益事業2で管理した。

1 姫路キャスパホール(指定管理施設)の管理運営

年間利用者 33,924人 使用率 55%

2 パルナソスホールの管理運営

年間利用者 44,018人 使用率 69%

令和6年度 事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。

